



今切川河口堰の閘門（こうもん）を見学

夏休みに吉野川の水利について学んでもらおうと、子どもを対象とした講座を開催。小学生親子8名が参加し、さまざまな施設を巡りました。

まず、旧吉野川河口堰管理所、今切川河口堰の見学からスタート。河口堰には、ゲートの開閉で流量や水位を調整して海水の遡上を防ぎ、上流の水を用水として供給するほか、洪水時は下流に流して被害を防ぐという役割があります。管理所では普段は立ち入れない操作室を案内してもらい、今切川河口堰では船が閘門を通る様子を、作業船を使って見せてもらって、子ども達は大喜び。大人も興味津々で見学しました。



吉野川北岸工業用水道浄水場では、沈殿池や配水池などを見学しました



旧吉野川浄化センター



ハレルヤスイーツキッチン工場

その後、旧吉野川浄化センターで下水道処理のしくみを、吉野川北岸工業用水道浄水場で工業用水道の役割を学習。吉野川北岸工業用水道浄水場は20以上の企業に、一日10万5千m<sup>3</sup>の水を供給しているとか。徳島の工業を支える重要な施設なのだ実感しました。

ツアーの最後は「ハレルヤスイーツキッチン」へ。ここでも、浄水場から送られた水が使われています。できたの「金長まんじゅう」をおみやげに、工場を後にしました。

私達の生活を潤す水。その水を支える施設を見学し、水の大切さを再認識した一日でした。

現地見学会



## 吉野川の水利を学ぼう

親子で学ぶ水利施設見学ツアー

2022  
8/24

現地見学会



## 吉野川源流域を巡る

四国三郎・吉野川源流域ツアー

2022  
10/29



源流の碑とともに記念撮影

総延長194kmの吉野川は、高知県の瓶ヶ森に源を発します。2022年10月29日、源流域を巡るバスツアーを6年ぶりに開催しました。前回は濃霧のため途中で引き返したので、今度こそ！参加者20人の思いが通じたのか、当日は見事な秋晴れとなりました。

徳島市出発から約3時間、ここから町道瓶ヶ森線に。西日本最高峰の石鎚山を背景に、標高1300m〜1700mの尾根沿いを縫うように走るルートは、「UFOライン」と呼ばれるドライブコース。絶景に車中から歓声が上がります。町道の途中、道路から少し上った



石鎚山へと続く天空の道「UFOライン」



四国の水がめ「早明浦ダム」

絶景に感動!



徳島市からご参加の仲良し4人組の皆さん。UFOラインの絶景に「四国にこんなところがあったのか！」と感動しきり。早明浦ダムでは、「ダムの中や下からも見られて貴重な体験になりました」と語ってくれました。

所に「吉野川源流の碑」が建てられていました。碑の約400m下、深い森の中にあるという源流地点に思いを馳せながら記念撮影！落差約100mの小金滝など雄大な自然を満喫しながら川を下り、四国の水がめ・早明浦ダムへ。職員さんの案内で、堤頂、そして堤下から大迫力のダムを見学し、吉野川のふるさと・源流域を巡るツアーを締めくくりました。